

## 令和3年度 第2回 市長と語る車座ミーティング（意見交換概要）

【開催日時】 令和3年10月25日（月）午前10時00分～午前11時30分

【開催場所】 中央公民館3階 講堂

【申込団体】 東御市女性団体連絡協議会

【参加者数】 22名（市長、市職員を除く。）

【懇談テーマ】 女性の活躍推進について



※議事については、主な内容を抜粋して掲載しております。

個人のプライバシーに関する部分などについては、一部内容を割愛しております。また、意見交換の内容は開催日時点のものであり、現在の状況と異なる場合がありますことを、あらかじめご了承ください。

### 【概要】

#### ①安心して子どもを産み育てるために必要なことについて

（会員）

令和3年2月に市で実施した「男女共同参画に関する市民意識調査」結果で、「安心して子どもを産み育てるためにどんな事が必要ですか」の質問に対して、第一位は「子育て中の柔軟な勤務形態や職場の理解の普及」でした。市役所では、特に子育て中の労働時間の短縮や在宅勤務などの考慮されているのでしょうか。

(市長)

市役所は、市民に対するサービスが仕事です。職員の育児等で市民へのサービスが低下しないことが前提で、その上で育児中どうしたいのか言える職場でありたいと考えています。仕事と子育ての両立にチャレンジし、子のために職場を去る方もいますが、乗り越える理解と支援ができる職場を作っていこうと動いています。

(会員)

先ほどと同様の質問に対して、第二位は「出産、育児に関する経済的支援の拡充」でした。現在、出産、育児に関してどんな経済的支援があるのでしょうか。

(市長)

就任直後から第3子の保育料無料化、保育園整備、ニーズの多い0歳児からの保育、少子化でありながら福祉も含め、本当に必要な所にやりくりしたお金でサービスを届けることをしてきました。また、今年度から、15歳までの医療費無料化を18歳までとしました。

子育て世代全体のことは予算分配を含め国がやるべきことであり、市がやるべきことは、取り残されている子に直接支援する方向に行かなければならないと考えています。例えば、小中学校では耐震整備・エアコン・トイレ改修です。困っている所、家庭というより子に届く支援をしていきたいです。

## ②イクボス・温かボス宣言後、市の取り組みについて

(会員)

平成29年2月24日、上田地域広域連合会5市町村による「イクボス・暖かボス宣言」が行われました。結婚・出産・子育て・親の介護など、男性も女性もどんな状況でも働き続ける事ができる職場環境を作るためには、部下のワーク・ライフ・バランスを理解し応援する上司、ボスの存在が重要です。男性の育児休業取得が進まない背景に、休みを取りたいのに取りにくい職場の雰囲気があるという声を聞きます。男性の育児休業が取りにくいという声に対して改善策などされているでしょうか？

(市長)

私としては、理解がないから男性が育児休業を取らないのか議論したほうが良いと思っています。個人的な事柄ですが、乳児の世話を早朝に行っています。やっていて出来ないわけでは無いですが、育児は女性が主体と感じました。市役所では子が生まれたり男性職員に休むよう言っています。さらに言えば育児休業に関しては市役所で実現して、民間にPRすることが理想だと思います。

## ③庁内における女性を含めた管理職の登用と配置について

(会員)

女性の職場における活躍を推進する「女性活躍推進法」が平成28年4月から施行されています。それに基づき、市町村には働く場面における女性や企業に対する積極的なアプローチ

チが求められています。一般的に、職場の女性活躍は、「仕事と家庭生活の両立」や「管理職登用」への支援によって進められるといわれています。庁舎における女性を含めた管理職の登用についてどのように考えていますか。

(市長)

入庁時に男女とも管理職になって頂くための自覚と覚悟をもって歩んでいただきたいと話をしています。クオーター制などもありますが、努力し、知識と能力、人に対する配慮を上げて管理職への期待がもたれる中で、人事が決まっています。それだけの能力と知識を持たずに管理職になると、本人も部下も辛い、雰囲気が悪く仕事が滞ることもあります。女性の登用数字を一気に上げるより少しずつ上げたいと考えています。職員同士の居心地が悪くならないよう、市民生活にも影響を出さないよう努力し、女性の発言権を増し、女性の目線で政策が展開されていくために時間を頂きたいと思います。

#### ④その他

(会員)

東御市は良いことをやっているのに周知が苦手、遅れているのだと思います。イクボスや福祉に関することなど広報のシリーズでページを組んでいただけると事業所や市民にもっと浸透すると思います。

(市長)

意識調査結果で社会にイクボスを含め子育てしやすい環境づくりを広める運動がやれていないことに愕然としました。反省をしました。イクボスのあふれる社会を認知していただけるよう努力していきたい。

(会員)

コロナ禍で急に仕事を失った母親がいます。また、スポーツ等の遠征時に仕事が休めない、遠征についていくと感染予防のため職場に来ないでくれと言われる母親もいます。このような相談をどこにして良いか分からないとよく聞きますので、市の相談室など気軽に入れる所を設けて欲しいです。

(市長)

コロナ禍で職を失ったケースにつきましては、生活保護や雇用保険などセーフティネットがかかっていますので、まずそれが使えないか、担当に相談して欲しいです。